

令和4年度

要覧

運営の基本方針

本県生涯学習及び社会教育推進の中核機関として、県民の生涯にわたる学習活動を支援するとともに、関係職員の資質向上を図り、市町村及び関係機関・団体との連携・協働による『「学び」と「活動」の橋渡し』に努め、持続可能な地域づくりの実現に寄与する。

センターの3機能

研修・人材育成

シンクタンク

学習活動推進
・情報発信

【事業推進テーマ】

～3機能の有機的ネットワークによる地域及び現代的課題解決へのアプローチ～

秋田県生涯学習センター

Akita Prefectural Lifelong Learning Center

令和4年度 生涯学習センター年間行事予定

4 月			5 月			6 月			7 月			8 月			9 月		
1	金	所内会議(1)、事業室会議(1) 新任者オリエンテーション	1	日		1	水		1	金		1	月	休館日	1	木	
2	土		2	月	休館日	2	木		2	土		2	火		2	金	
3	日		3	火	憲法記念日	3	金		3	日		3	水		3	土	C1 トライアル A3 クリエイティブ
4	月	休館日	4	水	みどりの日	4	土	G1 北条企画 A1 クリエイティブ	4	月	休館日	4	木		4	日	
5	火		5	木	こどもの日	5	日		5	火		5	金		5	月	休館日
6	水		6	金		6	月	休館日	6	水	家庭教育支援指導者 等研修②	6	土		6	火	
7	木		7	土		7	火		7	木		7	日		7	水	公民館等職員専門研修①
8	金		8	日		8	水		8	金		8	月	休館日 社会教育主事講習 (対面～8/19)	8	木	
9	土		9	月	休館日	9	木		9	土		9	火		9	金	
10	日		10	火		10	金		10	日		10	水		10	土	E1 あきた教養 F2 東大
11	月	休館日	11	水	新任職員研修 (リモート)	11	土		11	月	休館日	11	木	山の日	11	日	
12	火		12	木		12	日		12	火	第1回調査研究委員会	12	金		12	月	休館日
13	水		13	金		13	月	休館日	13	水		13	土		13	火	
14	木		14	土		14	火		14	木		14	日		14	水	
15	金		15	日		15	水	地域学校協働活動推進員・地 域連携担当教職員等研修(兼) 熟議ファシリテーター養成研修	15	金		15	月	休館日	15	木	
16	土		16	月	休館日	16	木		16	土	G3 北条企画	16	火		16	金	
17	日		17	火		17	金		17	日		17	水		17	土	D1 障害学び B1 チャレンジ
18	月	休館日	18	水		18	土		18	月	海の日	18	木		18	日	
19	火		19	木		19	日		19	火	休館日	19	金		19	月	敬老の日
20	水		20	金		20	月	休館日	20	水	市町村職員専門研修①	20	土		20	火	休館日
21	木		21	土		21	火		21	木		21	日		21	水	
22	金		22	日		22	水		22	金		22	月	休館日	22	木	
23	土		23	月	休館日	23	木	事業室会議(4)	23	土		23	火	事業室会議(6)	23	金	秋分の日
24	日		24	火		24	金		24	日		24	水		24	土	G5 北条企画 F3 東大
25	月	休館日	25	水	家庭教育支援指導者 等研修①	25	土	G2 北条企画 A2 クリエイティブ	25	月	休館日 社会教育主事講習 (オンライン～8/5)	25	木	北海道・東北5道県 生涯学習センター等 研修交流会	25	日	
26	火	事業室会議(2)	26	木	事業室会議(3)	26	日		26	火	事業室会議(5)	26	金		26	月	休館日
27	水		27	金		27	月	休館日	27	水		27	土	G4 北条企画 F1 東大	27	火	事業室会議(7)
28	木		28	土		28	火		28	木		28	日		28	水	
29	金	昭和の日	29	日		29	水		29	金		29	月	休館日	29	木	家庭教育支援指導者 等研修③
30	土		30	月	休館日	30	木		30	土		30	火		30	金	
			31	火					31	日		31	水				

10 月			11 月			12 月			1 月			2 月			3 月		
1	土	C2 トライアル E2 あきた教養	1	火		1	木		1	日	元日・休館日	1	水		1	水	
2	日		2	水		2	金		2	月	休館日	2	木		2	木	
3	月	休館日	3	木	文化の日	3	土	C6 トライアル E6 あきた教養	3	火	休館日	3	金		3	金	
4	火		4	金		4	日		4	水		4	土		4	土	
5	水		5	土	D2 障害学び B2 チャレンジ	5	月	休館日	5	木		5	日		5	日	
6	木		6	日		6	火		6	金	自作視聴覚教材コンクール 作品募集(～2/3)	6	月	休館日	6	月	休館日
7	金		7	月	休館日	7	水		7	土		7	火		7	火	
8	土	F4 東大	8	火		8	木		8	日		8	水		8	水	
9	日		9	水		9	金		9	月	成人の日	9	木		9	木	
10	月	スポーツの日	10	木		10	土	D4 障害学び B4 チャレンジ	10	火	休館日	10	金		10	金	
11	火	休館日	11	金	生涯学習・社会教育 研究大会	11	日		11	水		11	土	建国記念の日	11	土	
12	水		12	土	C5 トライアル E5 あきた教養	12	月	休館日	12	木		12	日		12	日	
13	木		13	日		13	火		13	金		13	月	休館日	13	月	休館日
14	金		14	月	休館日	14	水		14	土		14	火		14	火	
15	土	C3 トライアル E3 あきた教養	15	火		15	木		15	日		15	水		15	水	
16	日		16	水		16	金		16	月	休館日	16	木		16	木	
17	月	休館日	17	木	家庭教育支援指導者 等研修④	17	土	G8 北条企画	17	火		17	金		17	金	
18	火		18	金		18	日		18	水		18	土		18	土	
19	水		19	土	G7 北条企画	19	月	休館日	19	木		19	日		19	日	
20	木		20	日		20	火		20	金	第2回調査研究委員会	20	月	休館日	20	月	休館日
21	金		21	月	休館日	21	水		21	土		21	火	事業室会議(12)	21	火	春分の日
22	土	G6 北条企画 F5 東大	22	火		22	木	事業室会議(10)	22	日		22	水	自作視聴覚教材コン クール審査・結果発表	22	水	
23	日		23	水	勤労感謝の日	23	金		23	月	休館日	23	木	天皇誕生日	23	木	所内会議(2) 事業室会議(13)
24	月	休館日	24	木	事業室会議(9)	24	土		24	火	事業室会議(11)	24	金		24	金	
25	火	事業室会議(8)	25	金		25	日		25	水		25	土		25	土	
26	水	市町村職員専門研修② (兼)公民館等職員専門研修②	26	土	D3 障害学び B3 チャレンジ	26	月	休館日	26	木		26	日		26	日	
27	木		27	日		27	火		27	金		27	月	休館日	27	月	休館日
28	金		28	月	休館日	28	水		28	土		28	火		28	火	
29	土	C4 トライアル E4 あきた教養	29	火		29	木	休館日	29	日					29	水	
30	日		30	水		30	金	休館日	30	月	休館日				30	木	
31	月	休館日				31	土	休館日	31	火					31	金	



1 シングタンク機能

「障害者の生涯学習」に関する調査研究の推進

(1) 調査研究の推進・充実

県及び市町村生涯学習・社会教育の充実に資するため、現代的課題や地域課題の解決に向けた広域的、中・長期的な視野に立った調査研究を実施するとともに、その研究成果を生かした研修の企画・実施や成果の普及・啓発に努める。

「障害者の生涯学習」に関する調査研究(4年次)

令和3年度には、障害者の生涯学習についての理解促進を目的としたリーフレットを作成・発行した。

今年度は市町村や企業等と連携・協働し、当事者への情報の周知と障害の有無に関わらず学ぶ場の創出に焦点を当て、仕組みづくりのモデルとなる実践を行う。

社会教育状況調査

県内の生涯学習・社会教育の現状を把握し、基礎資料とする。

(2) 民間企業や大学等との連携

各種研修等の企画・実施

秋田大学、日本赤十字秋田短期大学、東北大学等の県内外の大学及び県機関、県立学校、市町村立学校等との連携を強化するとともに、民間企業等とのコラボレーションにより、研修内容の充実を図る。

秋田大学の講義、特別講義の講師

講師を担当することにより、職員の資質向上を図るとともに、未来を担う人材の育成に当たる。

(3) 運営委員会の開催

当センターの適正な運営と円滑な事業の推進を図るため、学識経験者や生涯学習の実践者等の委員を選任し、年2回の委員会を開催する。



2 研修・人材育成機能

「持続可能な地域づくり」を目指す研修・支援の推進

(1) 研修事業の推進

地域課題や現代的課題(障害者の生涯学習・防災等)の解決に迫る関係職員研修を充実させる。

生涯学習・社会教育関係者研修

※会場はすべて生涯学習センター(オンライン研修の場合あり)

【年間研修テーマ】「持続可能な地域づくりに向けて

～ゆるやかなネットワークによる社会教育の充実～」

☐ 新任職員研修

5月11日(水)

「必修! 初めに知っておくべき生涯学習・社会教育行政の役割と可能性」

□第1回地域学校協働活動推進員・地域連携担当教職員等研修
(兼)熟議ファシリテーター養成研修
「実践演習！熟議をファシリテート！」

6月15日(水)

□市町村職員専門研修

- ①「障害者の生涯学習講座の実践方法と情報発信について学ぼう」 7月20日(水)
②「障害者の生涯学習×公民館の防災」 ※ 公民館等②と合同開催 10月26日(水)

□公民館等職員専門研修

- ①「公民館が地域のためにできること～防災・情報格差の縮小～」 9月7日(水)
②「障害者の生涯学習×公民館の防災」 ※ 市町村②と合同開催 10月26日(水)

家庭教育支援指導者等研修

- ①「保護者の気持ちや指導の実際を知り、地域でチームで支えよう」 5月25日(水)
・ 地域学校協働活動として支援する家庭教育支援チーム
・ 公民館、学校、保健・福祉との連携による家庭教育支援①
- ②「家庭が前向きになるかわり方やつながり方を学ぼう」 7月6日(水)
・ 子育て課題としてのネットデビュー
・ コミュニケーション能力を引き出すカウンセリングマインド
- ③「キャッチできる体制をつくり、持続可能な家庭教育支援の在り方を考えよう」 9月29日(木)
・ 家庭教育相談室「こころのオアシス」の活動
・ コロナ禍でも気軽に相談できる工夫
・ 公民館、学校、保健・福祉との連携による家庭教育支援②
- ④「コロナ禍をはじめとする社会の変化に対応した家庭教育支援を進めよう」 11月17日(木)
・ 不登校、ひきこもりにおける家族支援の実際
・ 公民館、学校、保健・福祉との連携による家庭教育支援③
・ ヤングケアラーへの支援策について

「秋田県生涯学習・社会教育研究大会」

- 【テーマ】「持続可能な地域づくりに向けて 11月11日(金)
～ゆるやかなネットワークによる社会教育の充実～」

(2) 市町村等の課題解決に向けた取組への支援

オーダーメイド型社会教育主事派遣(4年次)

市町村、学校等の課題解決に向け、要望のあった市町村等に生涯学習センター職員が出向き、市町村の職員等と協働・研究して課題解決に取り組む。

(3) 生涯学習団体への支援

県民に学習の機会を提供することを目的とした生涯学習団体への支援を継続する。



3 学習活動推進・情報発信機能

県民の生涯学習機会と学習情報発信の充実

(1) 県民の生涯学習機会の充実

あきたスマートカレッジ

地域課題、現代的課題に迫るあきたスマートカレッジを充実させる。

【無料講座】

- ☐ 新たな学び講座～学んだことで明日を変える～
(クリエイティブ編、チャレンジ編、トライアル編)
- ☐ 障害のある方の学び～私たちのプレジャンプ～

【有料講座】

- ☐ あきた教養講座～あきたアラカルト～
- ☐ 東大史料編纂所協力講座～史料研究の最前線～
- ☐ 北条常久特別企画講座～昭和時代Ⅲ 秋田県の芥川賞と直木賞～
※詳細は、「あきたスマートカレッジ学習案内」参照

(2) 学習活動等の情報発信の充実

生涯学習情報紙の発行

「生涯学習センターだより」、「虹色」を年3回ずつ発行する。

生涯学習支援システム「まなびサポート秋田」の掲載情報の充実

県及び市町村等の生涯学習講座等の情報、人材バンク情報を検索できるwebサイト「まなびサポート秋田」を開設し、関連する情報を提供する。

(3) 展示スペースの活用促進

県民の学習成果の発表の場として、概ね一月ごとに展示会を開催する。

(4) 「ブルーの窓口」での相談業務

開館日に学習相談員及び生涯学習ボランティアコーディネーターが対応する。

(5) 県庁出前講座の実施

生涯学習、家庭教育、インターネットセーフティなど4講座を開設する。

(6) 障害者スポーツスペースの活用

障害者スポーツ(ボッチャ・卓球バレー・バドミントン)の体験を通して、障害者の生涯学習に関する理解の促進を図るため、スポーツスペースを一般利用にも開放する。(予約制)

また、小・中・高校・特別支援学校に対し、「教育施設等のセカンドスクールの利用」として、「障害者スポーツを体験しよう！(ボッチャ・卓球バレー・バドミントン)」というプログラムを提供する。

(7) 視聴覚教育の充実

視聴覚教材の市町村等への貸出及び県自作視聴覚教材コンクール(令和5年2月22日開催)を実施する。



施設利用促進

生涯学習施設としての機能を充実させるとともに、利用者の安全と利便性の向上を目指した施設運営に努める。

◆令和3年度の利用状況

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
事業	主催事業等	3,279	1,818	2,506	3,235	2,141	2,360	3,791	3,146	3,083	1,609	1,107	1,877	29,952	
	ホール利用等	303	127	160	274	131	123	290	242	334	203	106	197	2,490	
	小計	3,582	1,945	2,666	3,509	2,272	2,483	4,081	3,388	3,417	1,812	1,213	2,074	32,442	
貸館	1号	教育団体	276	358	189	616	219	157	207	60	135	76	0	116	2,409
		行政団体	0	70	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38	108
		その他	496	541	465	637	411	495	1,110	564	787	363	371	421	6,661
		その他の団体	875	577	555	849	923	769	655	984	569	780	588	794	8,918
		貸館合計	1,647	1,546	1,209	2,102	1,553	1,421	1,972	1,608	1,491	1,219	959	1,369	18,096
	施設利用人数 総計		5,229	3,491	3,875	5,611	3,825	3,904	6,053	4,996	4,908	3,031	2,172	3,443	50,538

◆沿革

昭和

- 52年 6月 秋田県生涯教育センター建設協議委員会発足
- 55年 3月 秋田県生涯教育センター落成
- 秋田県生涯教育センター設置条例制定
- 4月 秋田県生涯教育センター開所
- 開所記念行事举行
- 7月 「秋田県コミュニティ・カレッジ」開講(～H10.3)
- 10月 秋田県生涯教育推進10周年記念事業

平成

- 元年 4月 「秋田県生涯学習センター」へ名称変更
- 2年 9月 秋田県生涯学習フェスティバル
- 秋田の生涯学習20周年記念開催
- 6年 4月 秋田県生涯学習センター分館「ジョイナス」開所
- 8年 12月 生涯学習情報提供ネットワークシステム運用開始
- 10年 4月 「あきた県民カレッジ」開講(～H20.3)
- 11年 2月 秋田県生涯学習センター Webサイト開設
- 12年 4月 秋田県生涯学習支援システム
- 「生涯学習 Info Akita」開設
- 18年 4月 分館「ジョイナス」の管理を委託
- 20年 4月 「美の国カレッジ」開講(～H24.3)
- 21年 10月 秋田県生涯学習支援システム
- 「まなびサポート秋田」開設
- 22年 11月 秋田県生涯学習センター開所30周年記念式典開催
- 23年 4月 分館「ジョイナス」を県民文化政策課に移管
- 24年 4月 「美の国アクティブカレッジ」開講(～H27.3)
- 10月 「行動人Webサイト」開設
- 27年 4月 「あきたスマートカレッジ」開講(～現在)

令和

- 元年 7月 北海道・北東北4道県生涯学習センター等研修交流会開催
- 2年 11月 開所40周年記念秋田県生涯学習・社会教育研究大会開催

◆職員一覧

所 長 倉 田 寛 行
副 所 長 浅 利 宏

【総 務 班】

副主幹(兼) 班長 武 藤 佳菜子
主 査 杉 本 未 緒
主 事 高 橋 美 咲
事 務 補 助 藤 田 信 子
事 務 補 助 畠 山 万喜子

【学習事業班】

副主幹(兼) 班長 柏 木 睦
主任社会教育主事 長谷川 工
社 会 教 育 主 事 田 口 圭
社 会 教 育 主 事 佐 藤 隆 道
社 会 教 育 主 事 栗 田 寿
社 会 教 育 主 事 菊 地 智
社 会 教 育 主 事 進 藤 尊 信
社 会 教 育 主 事 佐 藤 真
社 会 教 育 主 事 補 工 藤 伸 也
主査(兼) 社会教育主事 皆 川 雅 仁
主査(兼) 社会教育主事 戸 島 毅
社会教育アドバイザー 工 藤 孝
学 習 相 談 員 川 辺 斉
学 習 相 談 員 高 野 聡 子
事 務 補 助 鈴 木 希 子
事 務 補 助 安 原 将 樹
シニアコーディネーター 北 条 常 久

施設案内

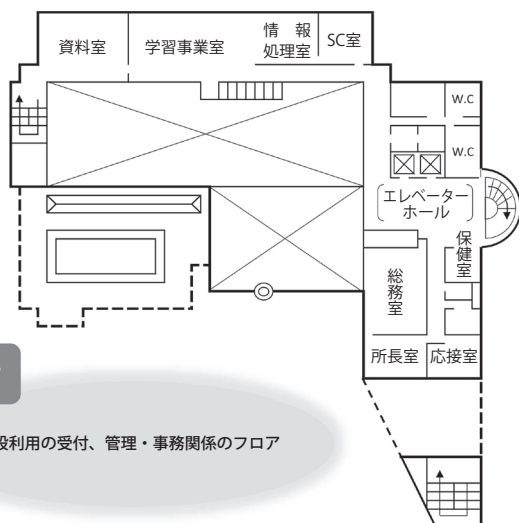
敷地面積
建物延面積

4,416㎡
6,299.6㎡

構造規模 鉄筋コンクリート（一部鉄骨）造、
地下1階、地上5階、塔屋2階

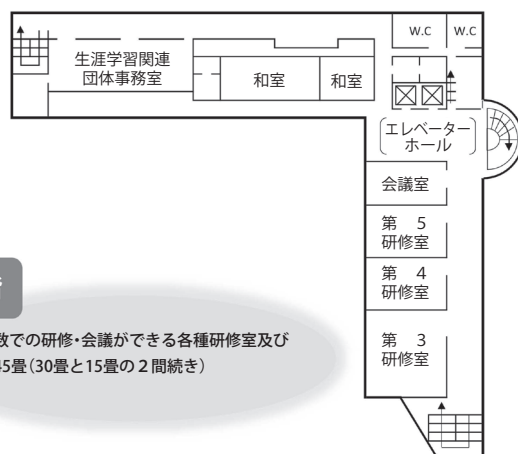
2階

施設利用の受付、管理・事務関係のフロア



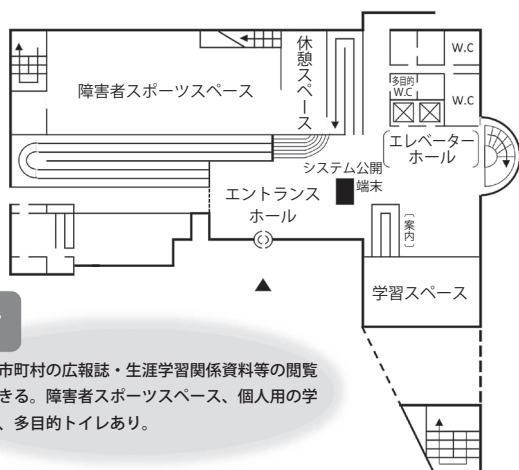
5階

少人数での研修・会議ができる各種研修室及び和室45畳(30畳と15畳の2間続き)



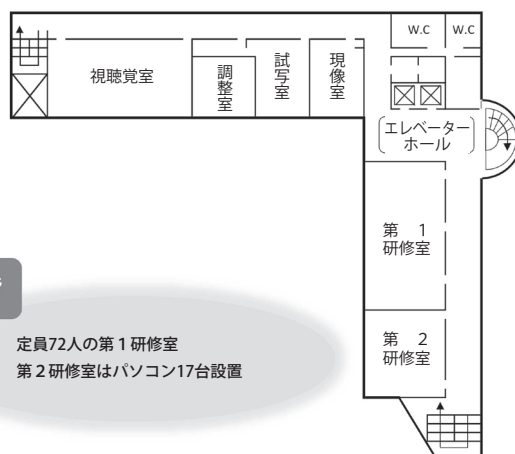
1階

県内市町村の広報誌・生涯学習関係資料等の閲覧ができる。障害者スポーツスペース、個人用の学習机、多目的トイレあり。



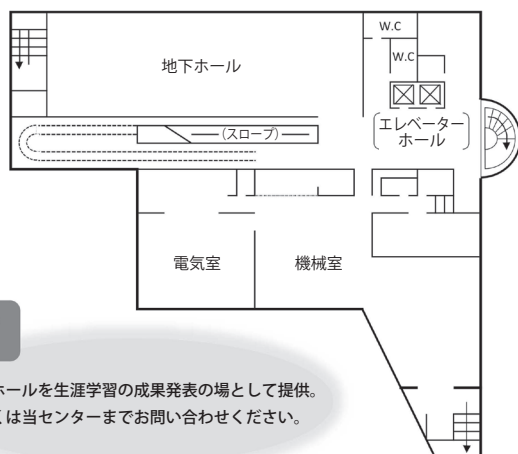
4階

定員72人の第1研修室
第2研修室はパソコン17台設置



地下

地下ホールを生涯学習の成果発表の場として提供。詳しくは当センターまでお問い合わせください。



3階

講演会や大人数の研修会場として240人収容可能な講堂



秋田県生涯学習センター

〒010-0955 秋田市山王中島町1-1

TEL: 018-865-1171

FAX: 018-824-1799

URL: <https://www.pref.akita.lg.jp/lifelong/>

E-mail: sgcen002@mail2.pref.akita.jp

